

一般社団法人未踏科学技術協会超伝導科学技術研究会

第 80 回ワークショップ

「電力グローバルネットワークは実現するのか？」

現在、世界の人口は 65 億人を超え、2050 年には 90 億人に達すると予測されています。さらには今後の BRICs 諸国の台頭、発展途上国の経済成長が見込まれる中、全世界での電力需要は増加の一途をたどることになります。一方、地球温暖化ガスの増加に歯止めをかけることは永続的な人類生存のためには必須の課題です。このような背景の中、再生可能エネルギー源の普及とともに、電力を効率的に融通しあうグローバル規模の電力ネットワーク網の構築の必要性も益々増大してくると考えられます。ただし、グローバル規模の電力ネットワーク構築のためには政治面、技術面、コスト面で様々な課題を克服する必要があります。今回は、電力送電の開発に携わる様々な分野の講師の方々をお招きし、開發現状と今後の課題について講演していただきます。

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

協賛：公益社団法人 低温工学・超電導学会(依頼中)

日時：平成 25 年 1 月 16 日 (水) 13:30~17:30

場所：全日通霞が関ビルディング 8 階 大会議室 B

〒100-0013 千代田区霞が関 3-3-3 TEL 03-3581-2261

定員：120 名

参加費：■超伝導科学技術研究会員：参加費無料、資料代 2,000 円

■協賛学会：参加費 4,000 円、資料代 2,000 円

■一般：5,000 円、資料代 2,000 円

■学生：参加費無料、資料代 2,000 円

プログラム(案)：

13:30-13:35 開会の挨拶 下山 淳一 (超伝導科学技術研究会 会長)

13:35-14:20 直流海底ケーブルの開発状況 森川 達之 (電源開発)

14:20-15:00 情報通信用電源の直流化と超伝導への期待
武井 務 (NTT ファシリテーズ)

15:00-15:20 休憩

15:20-16:00 超伝導送電の経済性評価 林 和彦 (住友電気工業)

16:00-16:40 NEDO の超電導電力ケーブル開発プロジェクト
臼井 賢司 (NEDO)

16:40-17:20 電力ネットワークへの再生可能エネルギー導入の技術と課題
石井 英雄 (東京電力)

17:20-17:25 閉会の挨拶 北口 仁 (超伝導科学技術研究会 副会長)

問い合わせ先：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当 大貫

Phone: 03-3503-4681 Fax: 03-3597-0535 e-mail: fsst@sntt.or.jp